

会長報告

後藤 譲治

日本小児歯科学会九州地方会の本年度のメインな行事である、第13回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会は、10月14日(土)に佐賀県歯科医師会館に於て、九州小児歯科集談会及び九州大学小児歯科学教室の担当、中尾哲之大会会長、柏木伸一郎準備委員長のもとに開催されました。幸い好天氣に恵まれ、参加者370名という盛況でした(詳細は2頁に記載)。なお九州地方会の会員数は、本年11月24日現在571名です。

昨年より復活した日本小児歯科学会地方会会長会は、12月1日東京で開催され、各地方会の現状、地方会大会と全国大会の関係等が討議されました。

次に、10月に開催された九州地方会幹事会に於て、第14回日本小児歯科学会九州地方会大会は、平成8年11月23日(土)に、小椋正大会会長、旭爪伸二準備委員長のもと、宮崎市の宮崎県歯科医師会館で開催されることが報告されました。九州地方会は大会未開催の場所での学会開催によって、地域の啓蒙と活性化をはかるとの方針であります。宮崎の学会により、九州各県を一巡することになります。また、第15回日本小児歯科学会九州地方会大会は、長崎大学歯学部が担当して、長崎県内で開催されることに決定しました。次に次期地方会会長としては、鹿児島大学歯学部小椋正教授が選出されました(任期は平成8年4月1日より2年間)。

次に地方会のあり方が種々討論されました。なお、九州地方会においては、日本小児歯科学会からの地方会補助金は全て学会開催費に当てており、本部会費、会報印刷費、郵送費等はなく、全て地方会会長側の負担で行っております。このような地方会は他に例がなく、本件もそろそろ改める時期に来ており、討議の結果、次期会長の年度に解決をはかることになりました。

以上、今期の会長報告と致しますが、日本小児歯科学会九州地方会の会長を2期務めさせていただき、任期は平成8年3月31日までとなります。これまで、本会発展のために御尽力賜りました各位、御協力、御協賛賜りました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

第 13 回

日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会

佐賀県歯科医師会館で開催

第13回日本小児歯科学会九州地方会大会および総会は、平成7年10月14日（土）佐賀県歯科医師会館にて開催された。九州小児歯科集談会会長の中尾先生を大会会長として、九州大学歯学部小児歯科学教室と九州小児歯科集談会が主催し、佐賀県歯科医師会の後援を頂いた。佐賀県での開催は今回が初めてのため、当初はいろいろ不安があったが、佐賀県の小児歯科学会員並びに九州大学歯学部同窓会の先生方の全面的な協力を得て、大会をスムーズに運営することが出来た。当日は晴天に恵まれたこともあり、368名と盛況であったが、特に佐賀県から約70名の参加者があり、当地での開催の目的を果たすことができた。

総会では、第14回日本小児歯科学会九州地方会の開催を、平成8年11月23日（土）に、宮崎県歯科医師会館において鹿児島大学歯学部小児歯科学教室と宮崎小児歯科臨床懇話会の担当で開催されることに決定した。また、次期九州地方会会長（平成8年4月1日より）には、鹿児島大学の小椋正教授が選出された。

今回は、一般講演8題、展示発表13題であったが、大学以外で初めて開業医が大会会長を務めたこともあり、より臨床的な内容の発表が多かった。また、展示発表を出来るだけ増やし、ディスカッションがしやすいよう心がけた。特別講演は『乳児期から学童期にかけての歯科的管理—齲蝕予防から外傷・咬合誘導まで—』と題して、新潟大学教授野田 忠先生に数多くのスライドにより解りやすく講演して頂いた。

シンポジウムⅠは『小児歯科臨床におけるコ・デンタルスタッフの工夫点』と題し、臨床で活躍している歯科衛生士4名の方に、医院の環境づくりから子どもや母親への対応リコールの定着などにつき工夫点の発表があった。またシンポジウム

Ⅱは『九州の小児歯科医療の現状と未来への展望』と題し、4名の開業医の先生方に医院が置かれている現状や地域的な特徴、小児歯科医療に対する考え方などを報告してもらい、そこからこれからの小児歯科医療の展望へとディスカッションを広げていった。両シンポジウムとも臨床医やスタッフにとっては日頃から悩んでいる問題であり、これに対しシンポジストの方々より多くの示唆を頂いた。

なお学会後の懇親会は、場所を若楠会館に移し参加者も多数で、各大学新人医局員の演芸披露等もあり賑々しく行われた。

このように盛会の内に大会を終えることができたのは、多くの方々のご努力・ご協力の賜であることを、深く感謝致します。

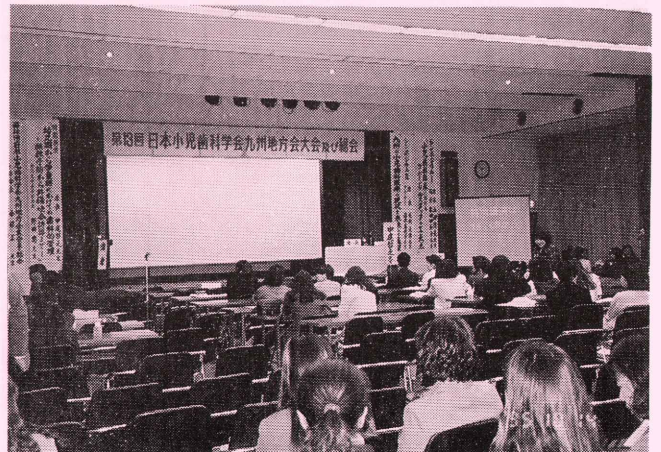
（柏木伸一郎記）



総会 後藤会長挨拶



シンポジウム



学会会場

九州地区における小児歯科研究会関連の御紹介

九州小児歯科集談会

九州小児歯科集談会では、今年は日本小児歯科学会九州地方会の担当となったので、そちらに精力を傾けることにして、セミナーは1回のみ行うことにしました。地方会は集談会と九州大学小児歯科学教室が存在する福岡と開催地が離れているというハンディがあったのですが、佐賀県の先生方も協力して下さいました。当日は、お陰様を持ちまして370名という多数の参加者を集めることが出来ました。一般講演もさることながら特別講演では、新潟大学の野田教授により学童期の歯科管理について予防から咬合誘導まで幅広く臨床に役立つお話をさせて頂きました。今後、他の地方会の先生とも色々な形で交流があったら良いなと感じました。シンポジウムⅠでは、小児歯科医院のコ・デンタルスタッフの方々の様々の工夫についてディスカッションを行いました。シンポジウムⅡでは、小児歯科医療の将来像について色々な立場の先生により活発な討論がなされました。これも地方会役員、九州地区小児歯科研究会の先生方の協力があったからだと感謝致しております。

平成7年度九州小児歯科集談会活動内容

1. 会報『こだま』11号の発行……………6月
2. 『福岡市民の歯を守るつどい』……………”
コ・デンタルスタッフが、虫歯予防コーナーで協力
3. 平成7年度第1回セミナー……………6月

『こどもも、お母さんも、元気にな〜れ』
(前国立福岡中央病院小児科部長)

松本 正先生

【コント】『歯科衛生士の本音、母の本音』
“ネーネーズ”

(福岡県内の在宅衛生士の会)

堤 鈴子、久保山 裕子

4. 会員懇親会 (62名参加) ……………7月
5. 日本小児歯科学会九州地方会 (佐賀) …10月
九州大学小児歯科学教室と共催で開催
コ・デンタルスタッフシンポジウム発表
『小児歯科における医院内の環境づくり』
マスタ小児歯科 田口 共子
7. 会報『こだま』12号の発行……………11月
8. 平成7年度九州小児歯科集談会総会
並びに講演会……………”

『国際歯科医療協力

—ネパールでの経験を通して』

九州歯科大学生理学教室

助教授 中村 修一先生

(中尾 哲之記)

事務局：〒813 福岡市東区香椎駅前1-9-8
第2エクセレント桜井 2F
なか小児歯科医院内
TEL 092(661)2370
FAX ” (681)8182

オクト・ピド・グループ

私達オクト・ピド・グループは発足して今年で8年目を迎え、メンバーも歯科医師8名、歯科衛生士・受付合せて28名と、合計36名の大所帯となりました。

毎年新人歯科医師に対して、小児歯科臨床のセミナーを行っています。今年も全員が経験者であったこともあり、より臨床的な内容をディスカッション形式で、11回のセミナーを行いました。日

頃の疑問点や各個人の工夫点なども含め、毎回約2時間のセミナーでしたが、歯科医師間の意見統一とレベルアップが成されたと思っています。

今年の対外的な活動としては、9月の第13回日本小児歯科学会九州地方会で山口が「GCを用いた乳歯歯牙の3次元モデルの試作」のポスター展示発表を行いました。

また、今までのリサーチ中心の活動から対外的

な交流を深めることを目的とし、外来講師として佐々木洋先生を御招きし、「顎口腔筋機能法(MFT)の基礎と臨床」という内容で2日間に渡り、講演会を行いました。初の試みでしたが、グループ外からも小児歯科専門医の先生方にも参加いただき、活発な意見交換がなされました。歯科医師だけでなく歯科衛生士にとっても大変刺激のある有意義な時間を持つことができたと思っております。

今後も新しい考え方や知識を得、日々の臨床で実践できるよう、年3～4回ほどのこのような会を企画しています。

このように、内にも外にも目を向けながら形に捕らわれず常に positive な姿勢で、日々努力を重ねています。

(下飛田道子記)

代 表：下飛田道子

連絡先：医療法人 社団 林檎会

小児歯科 はまの

〒815 福岡市南区大橋3-2-1

大橋プラザ2F

TEL 092(551)8080

FAX 092(511)4368

福岡臨床小児歯科研究会

福岡臨床小児歯科研究会は福岡およびその周辺で小児歯科専門あるいは小児歯科に重点を置いた地域医療活動を行っている歯科医師の集まりです。会員には開業医の他開業医院勤務医や病院歯科勤務医も含まれ、小児歯科のなかでも各々の立場や専門性をもって様々な角度からの意見交換がなされています。

本年度の活動内容は以下のとおりです。

〈会員発表〉

- ①「当院 (M小児歯科) の初診患者の主訴と年齢の変化」
- ②「過剰歯のリスク分け」
- ③「当院 (K小児歯科) における新患者の実態について」
- ④「続・21世紀の歯科医療」
- ⑤「乳幼児の歯科医療費助成制度」
- ⑥「口蓋裂児への Hots 床の使用」(予定)
- ⑦「舌癖の治療とその成功率」(予定)
- ⑧「診療室外での小児歯科医の活動」(予定)

〈外来演者講演会〉

- ①「小児の言語の発達と障害」
(言語療法士：相浦先生)

- ②「素敵な写真が撮りたいな」
(フリーカメラマン：高村先生)
- ③「子どもへの体罰とその法的解釈」
(弁護士：古賀先生)
- ④「子どもの権利条約」(予定)

〈研究〉

「小児歯科医院における初診患者の実態」

(日本小児歯科学会九州地方会にて発表)

本年度の活動の試みとして、外来演者による講演会を増やしたことと当研究会としての統一研究テーマを設け、学会発表を行いました。また、会員発表も含めた全体の活動内容の特徴として、小児を取り巻く社会・医療情勢をテーマにしたものが多く見られました。したがって小児との関わりを巨視的に捕らえて考察する機会を得ることができました。

今後も小児への医療サービスをより充実させるために多くの議論を行ってまいりたいと思います。

世話人：緒方克也・加藤陽子・別府孝洋

連絡先：〒830久留米市津福本町422

聖マリア病院障害歯科 別府孝洋

大分小児歯科研究会

今年度の研究会の活動は、昨年に比べ、低調でありました。理由といたしましては、GPの先生が中心なため、他のスタディーグループの行事、勉強会とのスケジュール調整が難しく、小児歯科専

門医が私を含め2名のため遠慮がちになりました。来年度は、何とかスケジュールを調整したいと考えております。

(河野 裕記)

長崎小児歯科臨床研究会

全国小児歯科開業医会の発足と同時に活動を開始した長崎小児歯科臨床研究会は昨年度まで活発な活動を行っていましたが、長崎という南北に長い地理的制約や、会員自体が忙しいなどの転機の時期を迎え、本年度は一時休止の状態にありま

す。

それでも新入会員2名を迎え総勢18名となり、来年早々にも活動を再開する予定となっております。

(行成 哲弘記)

熊本小児歯科懇話会

この1年間に3回の例会(第17回~第19回)を開催し、それぞれのメインの講演は次の通りです。第17回は「発達障害児に対するプレ・スピーチの評価と治療〜こども総合療育センターでの摂食指導を通して〜」で言語療法士の浜下かおり氏から言語獲得前段階(プレ・スピーチ)の言語治療のひとつとして行っている摂食指導について、臨床経験を通じて乳幼児期の口腔機能の正常発達、異常発達のパターン、その訓練法について実技を交えながら詳しく説明して戴きました。第18回には豊島邦昭教授(九州歯科大学・口腔解剖第2講座)をお招きして「口腔機能を考える一味覚と味蕾」と題した講演をお願いしました。これは味覚を様々な観点の基礎的な事実から解き明かしたもので、会員一同久々に知的興奮に酔いました。第19回は「今日の歯磨剤を再考する」というテーマで会員によるアンケート結果の発表、私的歯磨剤などの後、日本歯磨工業会技術委員の氏家高志、江口泰輝、森茂樹の三氏による講演があり、今後の歯磨剤の効果的な応用に関し多くのヒントを得ることがで

きました。

この他に、第33回日本小児歯科学会において「小児歯科保健に関する小児科医の意識調査」を発表しました。この結果により、子供たちの健康を育むためには小児科医をはじめ子供を取り巻く様々な関係者と、より一層の関係を強めていかなければならないことを再確認しました。

(入江 記)

熊本小児歯科懇話会役員

会 長：小林泰子

副会長：川口辰彦、入江英仁

会 計：吉良直子

庶 務：岩井泰介

編 集：前田章二、松本晋一、下山文江

渉 外：伊東泰蔵、瀬尾令士

監 事：西田剛宗、三角洋介

事務局：〒861-32 熊本県上益城郡御船町辺田見

366-1 入江歯科医院内

TEL (096)282-3188

北九州市小児口腔保健研究会

北九州市小児口腔保健研究会は今年で5周年を迎え、平成7年6月17日に九州歯科大学記念講堂

において、木村光孝会長のもとで成功裡に終わることができました。これはひとえに北九州市、北

九州市教育委員会、北九州市歯科医師会および北九州市小児保健研究会の後援の御協力を頂いた賜物と考えています。

特別講演としては『子供の生活環境とテレビジョン・テレビゲーム及びマルチメディア』というテーマで北九州市小児保健研究会理事長の伊藤助雄先生による講演、『食生活の現状と課題—食品衛生の立場から問題点を考える』と題して、西南女学院短期大学長大里克夫先生による講演、『虫歯のない世代を作るために』と題して岡山大学歯学部教授下野 勉先生による講演、さらに会長講演として『顎の発育とカルシウムを考える』と題して九州歯科大学教授木村光孝先生による講演があり、内容の豊富な講演で会員一同深い感銘を受けました。

さらに、5周年記念シンポジウムとして『口腔

保健のための食生活を考える』と題して、シンポジウムの先生には石井 勝（福岡教育大学附属体育研究センター教授）、石松成子（九州女子大学教授）、三箇正人（福岡県学校歯科医会広報委員長）、中村和善（遠赤外線研究事務局長）、野田正紀（産業医科大学非常勤講師）、藤井阿里砂（北九州市教育委員会学校保健課指導主事）によるそれぞれの専門分野の立場からの講演後、活発な質疑応答があり充実した研究会でした。また一般講演は6題あり、口腔保健にふさわしい内容のものでした。約800人の御出席を頂き心から感謝申し上げます。さらに研究会では毎年虫歯予防デーの期間中には子供から成人になる過程における歯の健康相談を専門の先生をお招きして開催しています。

（橋本 敏昭記）

宮崎小児歯科臨床懇話会

はじめまして。九州地方会会報に私たちの会が紹介されるのは今回が初めてです。そこで、発足の経緯から現在までの活動内容等について紹介したいと思います。

私たちの懇話会の活動は平成3年に始まっております。現宮崎県歯科医師会専務理事の立川先生呼びかけで、旭爪、杉尾、辻、入江、松井、大山の7名が集まりました。その後、宮崎医科大学の口腔外科に在籍している松田が加わり、さらに、松永、黒木、梅田、青山の4名も加わって現在は12名で活動しています。今年4月に鹿児島市で小児歯科を開業された坪水先生にも、暫くの間加わっていただいております（坪水先生がんばって下さい）。会員の年齢は最年長の立川先生が52才で、他の会員は40代前半から30代後半に固まっております。一応小児歯科学会の会員が主なのですが、旭爪先生以外は皆GPですので、宮崎県ではただ一人の小児歯科専門医の旭爪先生を「グル」と呼ばせてもらっています。

活動は、毎月例会を開き、隔月に旭爪先生が担当し、それ以外の月は会員一人ずつが発表します。会員発表は、それぞれの臨床であったり、文献抄読であったりと色々ですが、内容は発達遅滞児に関することや小児患者のマネージメント、また感

染予防など多岐にわたります。旭爪先生にはタイムリーな話題や、行政に関することなどを教えてもらっています。特に宮崎県は小児に対する公的扶助の立ち後れや、保健所などの公的機関に歯科医師、或いは歯科衛生士がいないなどの実状があるという事などを他県との比較でつぶさに見せていただきますと、「現状のままではいかんなあ」と皆で憤ったりしています。実際それらの資料を歯科医師会の広報誌に発表したりもして、一般会員の蒙を啓くべく努力もしているのですが、予算というお金の問題も絡んで、現状の打破はなかなか難しいようです。

また、年2回、夏と冬にはフィールドワークにも出かけます。内容は夜の巷の研究で、世間では一般に「暑気払い」とか「忘年会」とか呼び慣わされているようですが、これもまた大変楽しい研究会です。

というようなことで、私たちの活動も5年目に入り、これからもますます充実した内容にしていきたいと思っております。来年には、ここ宮崎でも小児歯科学会九州地方会が行われる予定とのこと、しっかりお世話もしてやるからよろしく願います。

（大山 直生記）

小児歯科研究会 B.P.C. 熊本

B. Basic P. Pedodontic C. Clinical

《発会主旨》

今日、老年期に至るまで、より多くの天然歯牙を保存し、口の健康と心の安らぎを求めるべく、80-20運動が展開されている。

特に、すべての組織が成長発育の過程にある幼児期から学童期にかけての、小児歯科領域での保護管理は極めて重要である。日常の臨床の中で我々は、その生体の生理的变化を十分に観察して、生体自身の有する自然的な治癒能力におけるメカニズムとリズムに歩調を合わせた治療法を施すことが重要である。今回、我々は臨床小児歯科治療を施すに際し、病理組織学的な基礎学的見地に立脚しつつ検討、且つ、検索していく事を目的として本会を発会した。

〈代表〉

瀬尾 令士

〈顧問〉

牧野 敬美 加藤 洋治

〈会員〉

瀬尾 令士 新村 健三 大久保和之

石川 博文 河合 新 神内 正人

高橋 成久 山崎 英宇 住本 和隆

岡本 佳明 三善 貴夫 齊藤 朗

伊藤 道之 熊埜御堂 史子

森 奈千子 簗下 隆盛

〈連絡先〉

☎861-42

熊本県下益城郡城南町宮地530-3

医療法人皓奏会

瀬尾歯科クリニック

☎ 0964-28-7157

FAX 0964-28-7158

日本小児歯科学会九州地方会会則

- 第1条 本会は日本小児歯科学会九州地方会と称する。
- 第2条 本会は小児歯科に関する研究の発表と知識の普及を計ることを目的とする。
- 第3条 本会の事務所は別に定める所におく。
- 第4条 本会の会員は九州地区に居住する日本小児歯科学会会員で構成する。
- 第5条 1. 本会に次の役員を置き、役員会を構成する。
- 会 長 1 名
 - 副会長 2 名 (内1名は学外で小児歯科の臨床に携わっている者)
 - 幹 事 若干名 (内5名は常任幹事、並びに小児歯科の臨床に携わっている者)
 - 監 事 2 名 (内1名は学外)
2. 役員任期は、2ヶ年とする。ただし再任は妨げない。
なお、役員は九州・沖縄地区に居住するものに限る。
- 第6条 1. 会長は本会を代表し会務を総括する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代行する。
3. 常任幹事は会務に必要な事項を企画、審議し、これを執行する。
4. 幹事は本会運営に参画し、本会の円滑な運営を計る。
5. 監事は会計及び会務を監査する。
- 第7条 1. 次期会長・幹事は、役員会が候補者を推薦し総会で決定する。
2. 副会長は会長が委嘱する。
3. 常任幹事は九州地区5大学歯学部小児歯科主任教授とする。
4. 監事は総会で決定する。
- 第8条 本会は毎年1回総会を開き会務の報告、会則の改正、役員を選出、会計報告ならびにその他の議事を決定する。
- 第9条 本会は毎年1回会員の研究発表会を行う。
- 第10条 本大会は当日会費を徴収できる。
- 第11条 本会には顧問をおくことができる。
- 第12条 本会の事務年度は4月1日より翌年3月31日迄とする。
- 第13条 第8条の規定にかかわらず付則2の変更に関り、役員会において行うことができる。

〈付則〉

1. 本会則は、昭和58年4月から施行する。
2. 本会の事務局は、

〒852 長崎市坂本1丁目7-1

長崎大学歯学部小児歯科学講座内

TEL (0958) 49-7674

日本小児歯科学会九州地方会役員

(平成6・7年度)

会 長	後 藤 讓 治 (長崎大)		
副 会 長	小 椋 正 (鹿 大)	樽 美 哲 生 (長崎大)	
常任監事	小 椋 正 (鹿 大)	中 田 稔 (九 大)	
	木 村 光 孝 (九歯大)	本 川 涉 (福歯大)	
	後 藤 讓 治 (長崎大)		
幹 事	内上堀 征 一 (九歯大)	武 田 康 男 (九 大)	
	久 芳 陽 一 (福歯大)	樽 美 哲 生 (長崎大)	
	瀬 尾 令 士 (福歯大)	橋 本 敏 昭 (九歯大)	
	旭 爪 伸 二 (鹿 大)	細 矢 由美子 (長崎大・ 庶務担当)	
	野 中 和 明 (九 大)		
監 事	森 主 宜 延 (鹿 大)	品 川 光 春 (長崎大)	

■ 編集後記 ■

第13回日本小児歯科学会九州地方会大会及び総会は、佐賀で盛大に、多数の参加者で、無事成功に終わることができました。

一般講演、特別講演、シンポジウム、展示発表と、年々内容が充実してまいりました。

一般開業医の皆様、スタッフの学会でありますので、今後共、参加しやすい学会になるよう努力したいと思います。

(樽美 記)

平成7年12月20日印刷

平成7年12月25日発行

発行者 後 藤 讓 治

発行所 日本小児歯科学会九州地方会
会報編集委員会

〒852 長崎市坂本1丁目7-1

長崎大学歯学部小児歯科学講座内

TEL (0958) 49-7674
